

## R 7 学校関係者評価調査結果を受けての分析及び自己評価

校長 松永 かおり

### 調査回答数の状況

|     | 1年 | 2年 | 3年 | 合計  | 回答率(371人) |
|-----|----|----|----|-----|-----------|
| 生徒  | 92 | 87 | 70 | 249 | 67.1%     |
| 保護者 | 37 | 27 | 34 | 98  | 26.4%     |
| 地域  | 58 |    |    |     |           |

昨年度比較で10ポイント以上の差があった項目について分析及び自己評価を行った。

### 1 学習指導について

保護者

- ・「本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している」  
-18ポイント(生徒-2.2ポイント)
- ・「本校は映像やタブレットなどのICTを利用し、わかりやすい授業をしている」  
-18ポイント(生徒-1.7ポイント)

#### 【分析・自己評価】

- ・継続した授業改善の必要性。
- ・ICTについて、使用は定着したが、一部使用内容が形骸化しているところがある。AI活用など次のステップへ進む必要がある。
- ・保護者に実態が見えていないのではないか。学校公開期間の工夫や発信(学校だより、HP等)が必要。

### 2 生活指導について

保護者

- ・「本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている」  
-15.2ポイント(生徒+3.4ポイント)
- ・「本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。」  
-14.8ポイント(生徒-0.5ポイント)

#### 【分析・自己評価】

- ・学校での過ごし方やルールについて積極的に公開、発信が必要。また、「居心地向上プロジェクト」など、生徒主体の学校生活改善の取組等力を本校の特色として紹介。

### 3 学校行事について

保護者

- ・「学校行事は子どもたちにとって楽しい」-11.8ポイント(生徒+2.7ポイント)
- ・「本校は子供の意欲を大切にしている」-15.5ポイント(生徒+1.9ポイント)

### 【分析・自己評価】

- ・行事の意義や子供の様子が伝わっていない。今年度各行事を平日開催にしたことも理由として考えられる。R8は土日開催。
- ・生徒の主体的な活動の推進をアピールする必要がある。

## 4 キャリア教育について

生徒

- ・「私は、キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している」  
+18.4ポイント（保護者-12.2ポイント）

保護者

- ・「本校は、キャリア・パスポートの目標について子どもに考えさせる指導をしている。」  
-12.2ポイント（生徒+18.4ポイント）
- ・「本校は子どもの進路や将来のことについて考える授業がある。」  
-16.4ポイント（生徒+1.8ポイント）
- ・「本校は進路や将来の仕事に関する情報を提供している」-11.3ポイント（生徒+7.5ポイント）

### 【分析・自己評価】

- ・校内ではキャリア・パスポートの活用が定着してきた。教員の活用意識も向上。しかし、家庭には理解がすすんでいない。持ち帰り、家庭との情報共有、連携した活用など引き続き工夫改善が必要。
- ・キャリア教育については、多くの時間を費やして実施しているものの、その価値や意義、内容等が生徒、保護者共につたわっていない。情報発信の重要性。

## 5 先生について

保護者

- ・「本校は、丁寧に指導している」-19.4ポイント（生徒+0.2ポイント）

### 【分析・自己評価】

- ・生徒と保護者の捉えに差がある。保護者からの信頼を得られていない。
- ・引き続き教員に対する傾聴、寄り添う姿勢、丁寧な対応の徹底が必要。

## 6 全般について

生徒

- ・「私は家庭で、宿題やe-ラーニングなどで学習をしている。」  
+18.5ポイント（保護者+2.4ポイント）
- ・「学び舎の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある」  
+18.5ポイント

保護者

- ・「本校の教育活動は、子供の成長につながる」 - 20.6 ポイント

#### 【分析・自己評価】

- ・宿題等で一人一台端末を自宅で使用する場面が増えたことが要因として考えられる。
- ・中町小学校との併設立地が好条件。玉川小も含めて引き続き学び舎の連携を進める。
- ・保護者へ本校の教育活動そのもののビジョンが伝わっていない。保護者会、HP、学校だより等により発信していく必要がある。

### 7 部活動について

特筆なし

#### 【分析・自己評価】

- ・部活動地域校モデル校として支援員中心の指導に移行した。学校の教育活動としての部活動、部活動支援員の育成等、世田谷区スポーツ振興財団と連携して取り組む必要がある。

### 8 独自質問について

生徒

- ・「私は地域行事に積極的に参加している。」 + 11.0 ポイント（地域 + 23.2 ポイント）
- ・「私は、ボランティア活動に積極的に取り組んでいる」  
+ 15.5 ポイント（保護者 + 18.8 ポイント）

保護者

- ・「学校長はリーダーシップを発揮している」 - 11.9 ポイント
- ・「わが子は、規則正しい生活を送っている」 + 12.7 ポイント（生徒 + 7.4 ポイント）
- ・「わたしは、学校公開期間や学校行事等で学校に来ている」 - 11.6 ポイント

地域

- ・「玉川中学校の生徒は、地域行事に積極的に取り組んでいる」 + 23.2 ポイント

#### 【分析・自己評価】

- ・継続して地域と連携し、生徒にボランティア活動や地域での活動機会を知らせていく。
- ・学校公開や行事等の通知を早め発信していく必要がある。
- ・規則正しい生活は家庭のご尽力である。

### ★ 新設質問

- ・「多様性を理解し、お互いに協力して生活している。」  
肯定的回答 生徒 92.4%、保護者 95.4%、地域 58.7%

#### 【分析・自己評価】

- ・継続してインクルーシブ教育の推進を図る必要がある。

## 9 学校からの情報提供について

保護者

- ・「本校は、学校公開や保護者会などで、生徒の様子がわかる。」 -19.6 ポイント

地域

- ・「『学び舎』の活動について、情報が提供されている。」 +20.8 ポイント
- ・「学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子がわかる。」 +11.8 ポイント

### 【分析・自己評価】

- ・令和7年度は学校行事等を平日開催としたこと等が理由として考えられる。改善の必要あり。

## 10 学校運営について

保護者

- ・「本校は、保護者に指導の重点を伝えている。」 -22.8 ポイント
- ・「本校は、教職員が指導の重点を理解して教育活動に取り組んでいる。」 -27.9 ポイント
- ・「学校運営について、本校は、地域に情報を提供している。」 -15.3 ポイント

地域

- ・「地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している」 -11.0 ポイント

### 【分析・自己評価】

- ・保護者に指導の重点やその理解の状況が伝わっていない。学校運営や教育活動の状況が伝わっていない。学校だよりの配布やHP等での情報提供の充実が必要。

## 11 学校と家庭との連携について

保護者

- ・「私は学校公開にすすんで参加している」 -18.9 ポイント
- ・「私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している」 -16.0 ポイント

### 【分析・自己評価】

- ・学校公開や行事に参加しやすい環境づくり、情報提供が必要。

## 12 学校と地域との連携について

保護者

- ・「本校は、地域や施設を教育活動に生かしている」 -16.9 ポイント
- ・「本校は地域の活動などに協力的である」 -11.1 ポイント
- ・「地域との連携について、本校は、地域に情報を提供している」 -14.0 ポイント

地域

- ・「学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている」 +30.9 ポイント
- ・「学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている」 +35.7 ポイント

**【分析・自己評価】**

- ・学校についての情報提供、連携、協力体制の構築が課題である。

**13 学校の安全性について**

保護者

- ・「本校は、自然災害時の対応を子供や保護者に提供している。」 +11.6 ポイント

地域

- ・「学校は安心・安全な学校づくりを進めている」 +11.6 ポイント

**【分析・自己評価】**

- ・自然災害時等の安全対策をすぐ一で通知することで、保護者には状況が伝わっている。地域へのより具体的な発信が必要。